

Table with columns for Project Name (感染症予防対策事業), Code (18900), Category (健康管理課), and various administrative details like budget and implementation status.

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

Table detailing project overview including implementation period (平成13年度~), content (influenza prevention for the elderly), and a flow of business (business flow).

(2) トータルコスト

Table showing total costs and personnel expenses. Includes sub-tables for 'Costs by Item' (e.g., printing, wages) and 'Personnel Expenses' (e.g., regular staff, overtime).

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

Large table mapping activities (e.g., vaccination) to objectives (e.g., preventing infection) and then to indicators (e.g., vaccination rate, life expectancy).

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

Table discussing environmental changes and resident opinions, such as the impact of the 2016 budget and resident expectations for vaccination.

事務事業名	感染症予防対策事業 高齢者の予防接種	課名	健康管理課	班名	予防班
-------	-----------------------	----	-------	----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？ 病気予防対策を行うことで、上位目標である「健やかで安らぎのあるまちづくり」を達成できる
	② 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象者を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 対象者や実施回数等は法に順ずる。近隣市(銚子市、匝瑳市、香取市、横芝光町、山武市、多古町)は法定化されてから、定期接種に切り替えている(平成26年度末で任意接種終了)。2回目以降の接種による副反応の発生状況が不確定であり、国の助成期限(平成30年度)までに必ず定期接種の対象年齢となることから、任意接種を終了する余地がある。
	③ 行政関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？ 法定化される以前の市独自の補助事業が残っているが、定期化されたことでカバーできる。
有効性 評価	④ 成果の現状水準	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？ 高齢者肺炎球菌の定期接種は平成26年度10月から開始したが、テレビ等での周知もあり定期接種者数:1,507人/6ヶ月(接種率42.4%)であり妥当な水準である。任意接種は、近隣市と対象が異なり比較できない。必要性を感じている方は既に接種を終えていると考えられるため、任意接種者数:330人/年(接種率5.2%)も妥当である。H26の高齢者インフルエンザ接種率は55.7%であり、管内平均53.0%より接種率は高く妥当である。
	⑤ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やし、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】↷ 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？成果の向上余地はどの程度あるか？ 平成24年度から高齢者肺炎球菌任意予防接種を実施しているが、接種率は徐々に低下し、希望者はすでに完了していると思われるため、今以上成果は向上しない。高齢者肺炎球菌定期予防接種は65歳の未接種者への受診勧奨をすることで成果は向上する余地がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名: () <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷ 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1) 具体的にはどのような事務事業か？ (2) 類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 予防接種法で定める予防接種(B類)の助成は本事業以外に行っていない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど) 任意接種をやめることで、定期予防接種率が上がる可能性があり、事業費も削減することができる。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？ 任意予防接種対象者へ改めて通知は実施していない。定期予防接種対象者へは、毎年対象者が異なるため通知発送までの事務を、パート職員に依頼しており、発送、結果処理に係る業務時間の削減余地はない。発送後に、高齢者からの問い合わせが多く、理解されるまで20分くらいの時間を要す。また、任意接種をやめることで長期的には業務時間が削減できる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 受益機会は法律で定められた対象者に準じており、適切である。受益者負担については、高齢者肺炎球菌は定期、任意ともに自己負担額から一律3,000円の補助。高齢者インフルエンザは自己負担額から1,000円の補助。費用は自由診療にて、医療機関により接種料金は異なる。いずれも近隣市と同程度の水準であり、適切である。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	インフルエンザ予防接種は平均接種率55%で推移しており定着してきている。高齢者肺炎球菌は、今後も法律の改正も考えられ、接種者にとっても理解しづらく間違いやすいと考えられる。また、二重接種の事故に繋がる恐れもある。近隣市の動向も含め、任意接種の定期接種への一本化または継続検討を行う。
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2~3年後を目処にした方向性		(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
					コスト																		
			削減	維持	増加																		
成果	向上	○																					
	維持																						
	低下																						
<input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し																						
<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上	<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業:)																						
<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減																						
<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化	<input type="checkbox"/> 費用負担の適正化																						
<input type="checkbox"/> 廃止・休止																							
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？																							
いつまでに	なにを、どうするのか？																						
平成27年10月	高齢者肺炎球菌任意予防接種の廃止を検討。近隣市の情報収集と、財政の調整を行う。																						
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
対象者、関係機関への周知期間の検討及び周知徹底(広報・HP・医療機関ポスター等にて)																							